

令和6年度 学校経営方針

笛吹市立一宮中学校 校長 樋口 友喜

1. はじめに

学校経営は、現在の学校教育が抱える課題と地域や生徒の実態を分析し、教育基本法をはじめ、山梨県学校教育目標指導重点や「新、笛吹市学校教育ビジョン」等を踏まえ、学校教育目標の具現化を目指すために、全職員が意識を統一し、知、徳、体のバランスの取れた生徒の育成を目指して推進したい。

また、基礎的・基本的な知識・技能等や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う「学習の個性化」、探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要である

2. めざす学校像・学校教育目標(めざす生徒像)・めざす教師像

テーマ:『明るく、元気に、たくましく』

(1)めざす学校像(我が子を通わせたい学校)

- ①生徒一人一人が自分の持ち味を發揮し、人間的に成長していく学校
- ②生徒が健康・安全に努め、安心して学びあえる学校
- ③地域・生徒・保護者の期待・信頼に応えられる学校
- ④危機管理マニュアル・危機管理意識が徹底されている学校
- ⑤環境整備が徹底している学校

(2)学校教育目標(めざす生徒像)

- ①深く考え、常に真実を求める生徒
- ②健康で勤労を愛好する生徒
- ③共同して物事をやりぬく生徒
- ④自主的で実践性に富む生徒
- ⑤豊かな心情を持つ明るい生徒

(3)めざす教師像

- ①切磋琢磨する教師
- ②自己研鑽に励む教師
- ③子どもと一緒に学びあう教師
- ④我が子の担任であって欲しい教師
- ⑤健康で何事にも挑戦する教師

3. 学校経営の基本方針

(1)『確かな学力の定着』

基礎基本の徹底と「学ぶ意欲・確かな学力」を身につけた生徒の育成
ICT活動を活用した学習活動の推進

(2)『豊かな人間性の育成』

豊かな心(思いやり・感謝・素直な心)を持ち、善悪の判断のできる生徒の育成と
基本的生活習慣の確立

(3)『健全な心身の育成』

心身共に健康で自他の命を大切にする生徒の育成

(4)『開かれた学校の創造』

学校と保護者・地域社会との更なる連携と協働ができる学校の創造